

技術情報シート

1. 技術の名称	廃プラスチック類の RPF 化
2. 技術の内容	産業廃棄物の中で多く排出される廃プラスチック類の多くは、今まで焼却処分や埋立処分されてきたが、同じようにリサイクルされなかった古紙や木くずとともに破碎・混合することで、RPF という固形燃料に再生することができる。RPF は廃棄物を利用しながら石炭と同等のエネルギーを持っているため、廃棄物のリサイクル推進と、それによる化石燃料の代替捻出、CO2排出量削減に貢献している。
3. 技術の概要	【技術の目的・用途】 今まで焼却処分や埋立処分されてきた廃プラスチック類、古紙、木くず、繊維くずを RPF へと再生する。製造された RPF は全量製紙会社へ搬入し、従来使用していたボイラー燃料(C 重油)の代替として利用されている。 【技術の特長】 産業廃棄物の中で多く排出される廃プラスチック類の多くは、今まで焼却処分や埋立処分されてきたが、同じようにリサイクルされなかった古紙や木くずとともに破碎・混合することで、RPF という固形燃料に再生することができる。RPF 製造施設の導入によって、リサイクル推進に大きく貢献することができた。また、RPF は廃棄物を利用しながら石炭と同等のエネルギーを持っている。当社では 72t/日 (24 時間稼動) の RPF 製造施設で製造した RPF を全量製紙会社へ納品している。製紙会社では従来使用していたボイラー燃料(C 重油)の代替として RPF を利用しており、CO2排出量は化石燃料使用時の約 25%となっている。廃棄物のリサイクル推進と、それによる化石燃料の代替捻出、CO2排出量削減に貢献している。 【実績】 処理能力:72t/日 (24 時間稼動)、RPF 製造量:240t/月 平均 【価格又はその問い合わせ先】 問合せ先:営業部 電話番号: (0852) 37-2890 FAX: (0852) 37-2892 E-mail: earth@earth-support.jp
4. 技術の分類	
①用途分類	都市ごみ処理、産業系廃棄物処理、リサイクル
②対象廃棄物	紙・段ボール、廃プラスチック、ペットボトル、発泡スチロール、建設廃棄物、その他 (木くず、繊維くず)
③提供役務	廃棄物処理サービス
5. 本技術に関するサービス提供が可能な国	中国
6. 検索キーワード	RPF、リサイクル、固形燃料
7. 問合せ窓口・担当者	アースサポート株式会社 総務・企画部 西村圭介 電話:0852-37-2890 FAX:0852-37-2890 E-mail:earth@earth-support.jp URL:http://www.earth-support.jp/